

大腸がんリスクは喫煙で高くなるのでしょうか。イタリアの欧州腫瘍学研究所のポッター氏は、2008年に「大腸ポリープの約20〜25%は喫煙による」と発表しており、全く喫煙歴のない人に比べ喫煙者は大腸ポリープのリスクが2.14倍に増加すると述べました。さらに喫煙者は大腸がんに変化する危険性の高いポリープを発症するリスクがかなり大きくなり、これは大腸がんに変化する際に、喫煙が重要な要因であることを示していると解説しています。日本ではどうでしょうか。2004年までに報告された大腸がんリスクと部位別のがんのリスクについての疫学研究発表によると、喫煙との関連を科学的根拠の信頼性の点から評価したところ、結腸がんについては不十分、直腸がんについてはリスクが上がる可能性がある、という研究結果が報告されています。従って、大腸がん全体としてもリスクが上がる可能性があるという結論になりました。

国吉宣俊 さん
国吉病院 院長



が報告されていま
す。従って、大腸がん
全体としてもリスク
が上がる可能性が
あるという結論にな
りました。